

ラヂオきしわだ番組審議委員会第 58 回議事録

開催日時 令和 3 年 11 月 5 日 13 時から 14 時 10 分

場所 ラヂオきしわだ事務局

ご出席委員	泉原 一弥	ご欠席委員	谷口 敏信
	原 宗久		芦田 有香
	小西 定代		細見 真知子
	青山 織衣		

放送局長 山田 剛 出席

理事長 梶野 昭太郎 同席

北野 忠夫 同席

番組審議委員長の泉原一弥氏が開会を告げる。

ラヂオきしわだが開局 10 周年を迎えた事のお祝いの辞を下さる。

1 番組編成他

山田局長が、新番組と終了番組等について説明する。前回の番組審議会から約 1 年を経過しているため番組改編が多くあり、12 月の番組表（テレビ岸和田のガイド誌の中にある）で最近の新番組等を説明する。週替わりの番組が木曜日 16 時からと土曜日 22 時、日曜日 13 時 30 分からと増えている。

2 番組審議

①おはなしの森

山田局長が番組企画書で説明する。ストーリーテリング（本来は語り手と聞き手が向き合ってお互いの顔を見ながら語る）の番組で、岸和田子ども文庫連絡会の有志の方が交代でお話をしている。

10 月 31 日 16 時からの放送を聴いていただく。

審議委員の方から以下のようなご意見があった。

- ・いいお話なので、もっと介護の施設とかでも聴いてもらう事を考えても良いのでは？
老人ホームではテレビばかり観ている。

（子ども文庫連絡会の方が来られた時に提案します）

- ・ラジオドラマに関心を持っている方も多いので、良いと思う。

（読み聴かせは著作権料を払わなくてもくてもよいが、ラジオ放送となると著作権で費用が発生する。現在は著作権料がいらぬと言ったものを使っている）

（フリーで岸和田の方が作ったものがあれば良いのですが）

- ・放送予定が 3 ヶ月ではもったいない。
- ・放送時間が短い、聴きごたえがある。

- ・良い番組なので続けて欲しい。もっと周知したほうが良い。

②Dr.Onoe に聴いてみよう

梶野理事長から、尾上さんは岸和田市民病院の副院長でコロナが蔓延しているのでラジオで話をしてみたいと、土曜日の Happy Moming Kishiwada でコロナの話したのが

始まりで、別の番組でもコロナの事を解りやすく話をしていただいている。1クールで終わる予定だったが、好評で違う題名で続けて放送していると説明する。

10月31日16時15分からの放送を聴いていただく。

審議委員の方から以下のようなご意見があった。

- ・一度聴いて、続けて聞きたくなった。先生と思って構えていたが面白い話だった。
- ・語り口調も良いし、面白い放送だ。
- ・医師としてのコロナの対しての危機感を分かりやすく説明されている。人間的な暖かさを感じる。
- ・街歩きをされた時には、コケチャッカーも観てほしい。
- ・保険制度の事も解り易く説明して下さった。
- ・15分と短いけど、聴きごたえがある。

(岸和田に縁のある方なので、これからも協力をお願いしたいと思っている)

3 その他のご意見他

審議委員の方から以下のようなご意見があった。

- ・番組表で生放送と収録番組の区別がつかない。
(生放送が都合で収録になったり、その逆もあります)
- ・人生相談を送れと言っている番組もあるが、収録ではなく生放送で人生相談を解決してほしい。局で提案してほしい。
(出演者に伝えておきます)
- ・差別用語の件はどうなったのか？
(本人は伝えておきました。放送禁止用語については一覧表にすることで、かえって拡散することもあるので都度の注意となります)
- ・発言者本人の認識を改めてほしいので確認した。
- ・おはきしの中では次の番組を紹介しているが、他の番組でも実行すれば。
(生放送では話しているが、収録では難しい面もある)
- ・提案して番組紹介をしたほうが良いのでは。
(パーソナリティ同士の繋がりにもなります)

4 聴取者からのご意見・クレームについて

前回の番組審議会以降に、聴取者からのご意見・クレームはなかった事を報告する。

次回の第59回番組審議委員会を、1月21日(金)午後1時から開催する事を決める。
原則、番組審議会の開催を奇数月の第3金曜日に実施と併せて決める。

以上